

Digital Cleanup Dayとは?



WORLD CLEANUP DAY (ワールドクリーンアップデー) が全世界で一斉にごみを拾って地球環境をきれいにする日であるように、Digital Cleanup Day (デジタルクリーンアップデー) は、全世界で一斉にデジタルごみを削除してデジタル環境をきれいにする日です。

Digital Cleanup Dayは、個人や企業がデジタルごみに対する認識を高め、デジタルデータを整理整頓することを目的とする世界的な取り組みです。



 Digital Cleanup Day 2024は、2024年3月16日(土)に開催されます。

デジタルごみとは?

デジタルの世界にも、現実の世界と同様に、膨大な量のごみがあります。不要なメール、ファイル、アプリ、写真や映像のコピーは、すべてデジタルごみといえます。

デジタルごみの算定に当たっては、国際エネルギー機関 (IEA) による世界のCO2 (二酸化炭素) 排出量の数値を基にします。これによると、「サーバーなどのデータストレージに1年間保存した4GBのデータは、2kWhのエネルギーを消費し、1kgのCO2を排出する」とのことです。

2023年には120ゼタバイトのデータが生み出され、2024年には147ゼタバイトに達すると予測されています。2023年は前年比で23.71%増加しました。

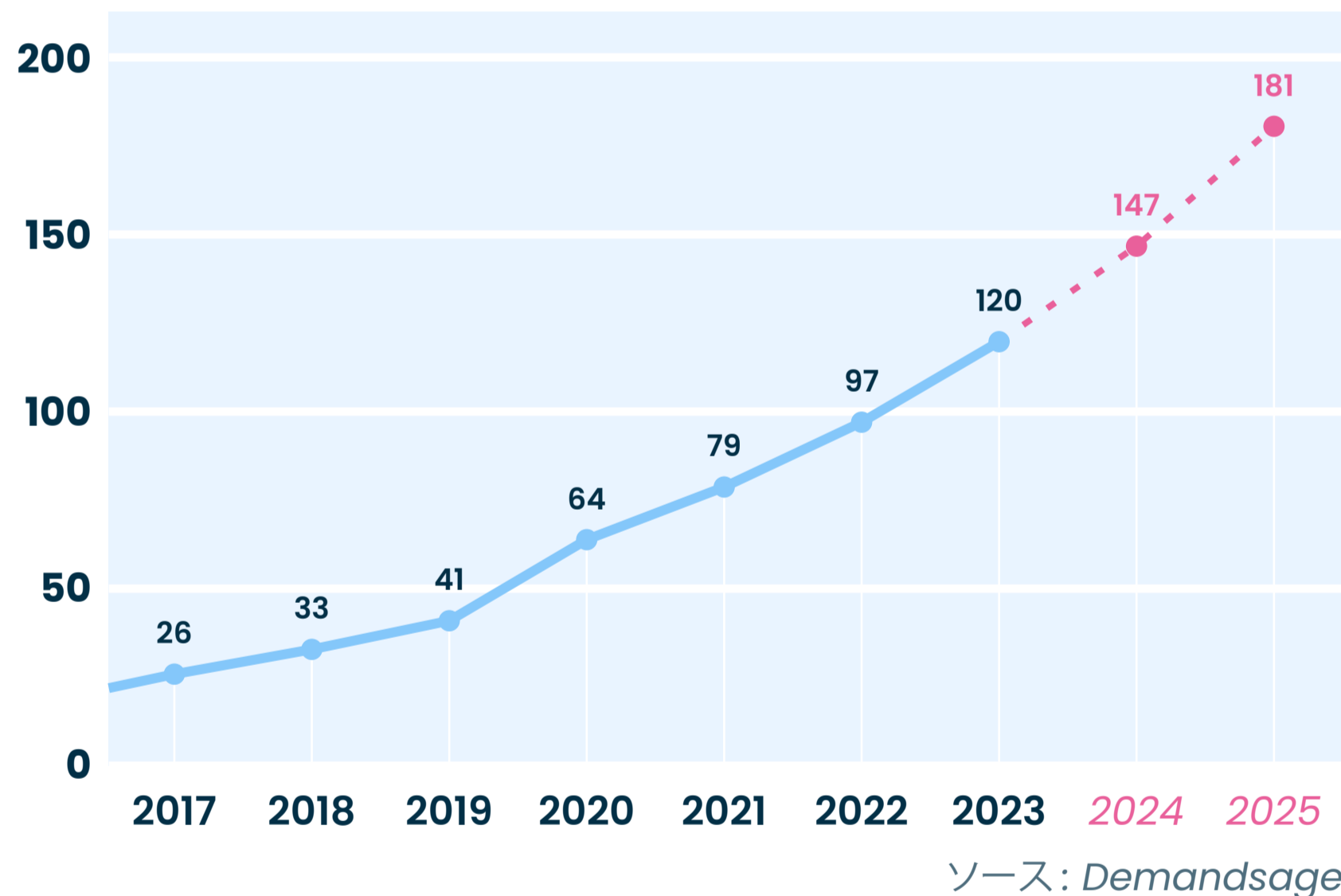
(注: 1ゼタバイト (ZB) = 10億テラバイト (TB) = 1兆ギガバイト (GB))

デジタルごみは、環境にどのような影響をもたらしますか?

デジタルごみは、莫大な電力を使用するクラウドサービスプロバイダーのサーバーにあります。インターネットとそれを支えるシステムは、毎年9億トンのCO2を排出しています。これは、世界の温室効果ガス排出量の約4%に相当します。

世界の温室効果ガス排出量に対する情報通信業界の割合は、**2030年までに20%以上に増加すると予想されています。**

データ量 (単位: ゼタバイト)



デジタルごみのオーナーは誰ですか?



それは、私たち一人一人です。

デジタルデータ全体の75%は、個人が作成したものです。私たちが撮った写真、書いた文章やメールは、もう不要であれば「デジタルごみ」です。



企業も同様です。

多くの企業は、サーバーに巨大なデータベースを有していますが、もう二度と使用されることのない不要な昔のデジタルデータや大量のWebページやアプリで溢れています。



デジタルごみが「使い捨てプラスチック」のような新たな危機にならないようにするためにも、次の3つの簡単な日々の取り組みから始めましょう。

1. デジタルごみがもたらす影響を認識する。
2. 不要なデジタルコンテンツはすべて削除する。
3. データの作成は、責任をもって。

デジタルごみに関するファクト

- ・ ビットコインのマイニングには、ニュージーランド全土が1年間に消費するよりも多くのエネルギーが必要です。(a), (b)
- ・ 2007年というわずか1年間に、世界中で1ゼタバイトのデータが作成されました。そして、2010年までに2倍になりました。2035年には、2,000ゼタバイト以上が作成される見込みです。1ゼタバイトのデータを印刷するとしたら、20兆本の木に相当する紙が必要といわれますが、地球上には約3兆5000億本の木しかありませんので、到底不可能なことです。(a), (b)
- ・ 2022年には、データ保存用に約7,000万台のサーバーが使用されました。それぞれ1~2トンのCO2が生み出された換算です。なお、同年に約2,000万台が電子ごみとなりました。(a)
- ・ データの99%は過去10年以内に作成されたものです。(a)
- ・ 今日、無制限なデータ消費のために、世界中のソーラーパネルから生み出されるエネルギーの3倍が必要となっています。(a)
- ・ インターネットは毎年9億トン以上のCO2を生み出しています!(a), (b), (c), (d)
- ・ 全データの90%は、保存されてから3か月を過ぎるとアクセスされていません。(a)
- ・ ウェブページの91%は、Googleからトラフィックされていません。(a)
- ・ 毎日3,200億通のメールが送信され、毎年62兆通の迷惑メールが送信されています。これは2,000万トンのCO2に匹敵します。(a), (b)
- ・ 1通のメールにより平均4gのCO2が排出される計算です。これは、電球を6分間点灯させたときのCO2排出量です。(a), (b), (c)



デジタル世界の
使い捨てデータ



現実世界の
使い捨てプラスチック



数字で見るDigital Cleanup Day

Digital Cleanup Dayが始まった2020年から2023年末までに、170の国と地域がDigital Cleanup Dayに参加しました。約87万人が1,270万ギガバイト近くのデータを削除し、年間約3,169トンのCO2の排出を抑制しました。



約87万人が1,270万ギガバイト近くのデータを削除し、年間約3,169トンのCO2の排出を抑制しました。

主催者

WORLD CLEANUP DAYを主催・運営するエストニアNGO「Let's Do It World」とNPO法人WORLD CLEANUP DAY JAPANがDigital Cleanup Dayを運営しています。WORLD CLEANUP DAYは、2018年以来、世界211の国と地域で9,100万人が参加し、543,000トン以上のごみを回収した世界最大級の市民活動です。



ソース:

- (a) International Energy Agency
- (b) "Bitcoin Tracking To Consume More Energy Than NZ" - Energetics
- (c) Powering the Internet: Your Virtual Carbon Footprint - WebFX
- (d) Energuide.be
- (e) Demandsage

